

< 2019年度 活動報告 ・ 2020年度 活動計画 >

# 放射線・線量委員会

放射線・線量委員会/委員長

小田雄二

2020年6月5日

# 目次

## 1. 放射線・線量 委員会の概要

1.1. 委員会組織

1.2. ステークホルダ相関図

1.3. スライドタイトル

## 2. 2019年度 活動報告

2.1. 2019年度 派遣団体等リスト

2.2. 国内DRL改定

2.3. ICRP Pb.135翻訳事業への参画 / 国内線量管理セミナー

2.4. 北米・欧州等との連携 / 新型ウィルスへの対応

## 3. 2020年度 活動計画

3.1. 情報インプット・アウトプット / 国際規格開発の動向確認

3.2. 国内市場の動向確認 / 国際連携

# 1. 放射線・線量 委員会の概要

## ■ 委員会組織

〔業務担当理事〕

佐藤 公悦（トーレック）

〔委員会〕

委員長 小田 雄二（日立製作所）

副委員長 中山 徹（島津製作所）

副委員長 桑原 健（富士フイルム）

委員 32名（2020/6/4時点）

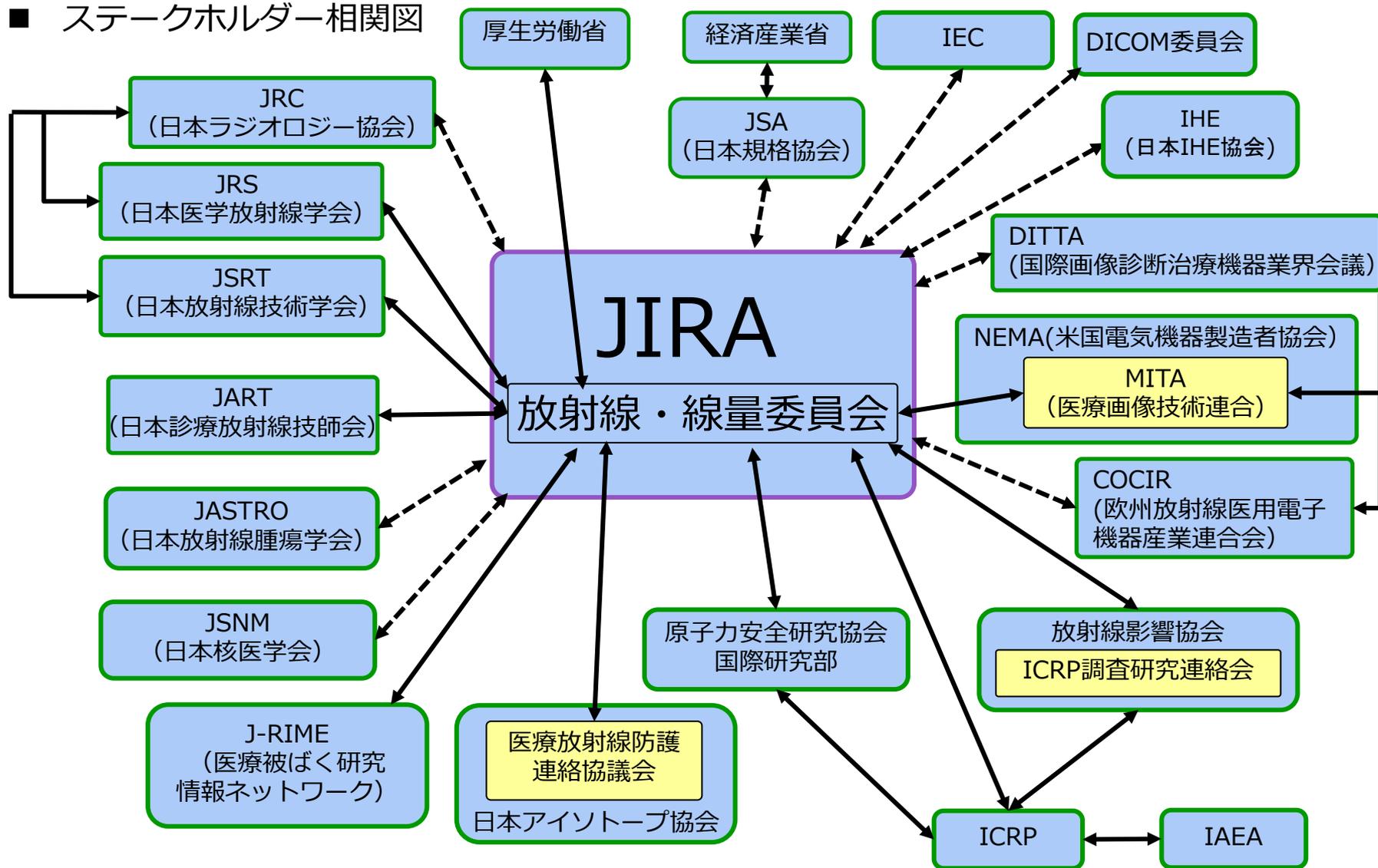
〔事務局〕

技術部 小田 和幸

- 放射線機器に関連する部会(標準化部会、法規・安全部会、システム部会、経済部会、国際委員会、広報委員会)からの代表者、及び公募委員により構成する。
- 各部会・委員会横断的な委員会を組織している。

# 1.放射線・線量 委員会の概要

## ■ ステークホルダー相関図



# 1. 2019年度 活動報告 (放射線・線量委員会)

## ■ 2019年度 派遣団体等リスト

No.	氏名(役職)	派遣先団体等	目的等
1	小田雄二(委員長)	ICRP調査研究連会	ICRPの調査・研究動向の確認
2		J-RIME	J-RIMEの動向調査
3	桑原健(副委員長)	J-RIME	J-RIMEの動向調査4
4		DRL WG	DRL改訂に向けた協議
5	貫井正健(委員)	J-RIME/DRL WG	DRL改訂に向けた協議
6	竹之内忍(委員)	放射線影響協会	ICRPの調査・研究動向の確認
7		放射線障害防止中央協議会	放射線安全管理研修会
8		MITA(XR-G/GF W)	MITAジョイントによる北米規制等の調査

### ■ 国内DRL 改定

- J-RIMEで審議・決定・公開される線量指標DRLの審議にオブザーバ参加し、アカデミアからのご質問への応答など、機器製造の立場から機器に対するコメントを行った。
- DRLは2015年に初版が公開され、運用・周知・啓蒙活動が活発に行われている。この改定作業が進められており、まもなく公開される見通しである。
- <http://www.radher.jp/J-RIME/index.html>
- 国内でも運用が始まった『線量管理』とも、将来は連携されると予想される。

### ■ ICRP Pb.135翻訳事業への参画

- 公益財団法人 原子力安全研究協会 国際研究部からの協力要請を受け、ICRP Pb.135翻訳事業に参画した。
- 主に機器説明(各モダリティ)を担い、まもなく公開される見通しである。

### ■ 国内線量管理セミナー

- 2019年4月に始まった線量管理について、各モダリティ・線量管理システムの製造・販売の立場から情報発信を行った。
- 各学術大会・個別開催の勉強会等にて主にCTシステム/IVRシステムで取り扱う意線量指標や機器概要、及び線量管理システムの各モダリティとの連携、などについて説明するとともに、市場要望の収集にあたった。

### ■ 北米・欧州等との連携

- RSNA開催期間中に行われるMITA主催・ステークホルダー会議に参加し、米国行政・アカデミアとの直接対話による市場要望の収集、及び主要製造会社関係者との意見調整を行った。

### ■ 新型ウィルスへの対応

- アカデミアより新型ウィルス診断に有効なCTシステムの運用等のご質問に対する応答等、アカデミア・市場からのインプットに対して他部会・委員会と連携し対応した。

## 3. 2020年度 活動計画

### ■ 情報インプット・アウトプット

- 医療放射線に関わる様々な情報を素早く入手し、一般社会やステークホルダーに適正なご理解をいただくためのアウトプットを行う。
- 具体的にはアカデミア・行政等からのご提案・ご質問への応答、学術大会等でのセッション等である。

### ■ 国際規格開発の動向確認

- 標準化部会と連携し、国際規格開発の動向を確認し、市場・ステークホルダーへの発信を行う。
- 当工業会で取り扱う各個別規格、線量指標規格、また新しい動きとしてある受入試験・不変性試験規格の開発状況を注視している。

## 3. 2020年度 活動計画

### ■ 国内市場の動向確認

- 経済部会と連携し、線量管理に関わる経済的要望・動向を確認し、将来にわたる適正な線量管理につながる提言等を発信する。

### ■ 国際連携

- RSNA開催期間中に行われるMITA主催・ステークホルダー会議に参加し、市場要望の収集、及び主要製造会社関係者との意見調整を行い、会員企業への情報発信・周知を行う。

**JIRA**

一般社団法人日本画像医療システム工業会  
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association

